

# 金剛流 ロシア能楽公演

## 「樂一茶碗の中の宇宙展」モスクワ展開催を機に 伝統芸能の若き精鋭たちが集結



能「羽衣」舞台写真より



金剛永謹

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、ロシア・モスクワ市演劇センター「桜の園」にて、「金剛流 ロシア能楽公演」を上演します。これは、モスクワのプーシキン美術館において開催される「樂一茶碗の中の宇宙」展にあたり行われるもので、併せて実施する裏千家による茶道講演会・デモンストレーションとともに、日本で受け継がれてきた哲学や思想、伝統の技、そして芸術に総合的に触れていただく機会として企画しました。

650年の歴史を持つ能楽界において五流のうち四流の宗家が東京を本拠地としている中で、京都に宗家が存在する唯一の流儀である金剛流。今回は、モスクワ市立演劇センター「桜の園」を舞台に、二十六世宗家・金剛永謹師監修のもと、二十七世若宗家・金剛龍謹が能「羽衣」を舞います。出演者の平均年齢が31歳という、伝統芸能の世界では異例の若手を中心とした舞台に、今から期待が高まります。プーシキン美術館でのオープニングでは、公演に先立ち、金剛永謹師による謡と小鼓によるパフォーマンスが披露されるとともに、「桜の園」での公演後には、若手能楽師とロシアの日本語・日本研究を行っている若者や演劇関係の若者たちとの青年交流の場を設け、日本の伝統芸能への理解を深めます。

モスクワに先立ち、 Санкт・ペテルブルグ・エルミタージュ美術館で同様に開催された「樂一茶碗の中の宇宙」展のオープニング記念公演でも好評を博した能楽公演。今回は、京都から次代を担う伝統芸能の若き精鋭たちがモスクワに集結します。その瑞々しい舞台を、ぜひ取材いただけましたら幸いです。事業の詳細やご取材については、お問い合わせ下さい。

【日時】 2015年9月22日(火)、23日(水) 両日ともに19時開演—20時30分終演(予定)

【会場】 モスクワ市演劇センター「桜の園」

【主催】 独立行政法人国際交流基金、公益財団法人楽美術館、プーシキン美術館、日露青年交流センター

【共催】 在ロシア日本国大使館

【協賛】 株式会社福寿園、有限会社コマツCIS、Mitsubishi Electric(Russia), LLC

●主催者・本事業に関するお問い合わせ: 国際交流基金 文化事業部 事業第2チーム (担当:大平、玉塚)

Tel: 03-5369-6063 / Fax: 03-5369-6038 / E-mail: arts2@jpf.go.jp

●広報用画像・取材に関するお問い合わせ: 岸 (公益財団法人 金剛能楽堂財団)

Tel: 075-441-7222 / Fax: 075-451-1008 / E-mail: kongou@isis.ocn.jp

## 【演目内容】

### 一、素囃子「獅子」(「石橋」より)

#### 【解説】

文殊の使いである獅子の霊験あらたかな舞い踊り、獅子の座につく姿を描いた「石橋」は、歌舞伎にも取入れられ石橋物と呼ばれる作品群を形成する程、言わば日本の伝統芸能を代表する作品のひとつ。今回は、素囃子による演奏のみで、作品が持つ緊迫感と迫力そして祝祭感をダイジェストでお届けします。

#### 【出演】

囃子 笛／<sup>あかい ようすけ</sup>赤井 要佑、小鼓／<sup>そわ い き お</sup>曾和 伊喜夫、大鼓／<sup>かわむら ゆういちろう</sup>河村 裕一郎、太鼓／<sup>なかた かずは</sup>中田 一葉

### 二、レクチャー「能の魅力」

お話／<sup>うだか たつしげ</sup>宇高 竜成

### 三、能「羽衣」

#### 【解説】

昔話でもおなじみの羽衣伝説をもとにした作品で、室町後期以降、頻繁に上演される人気曲。能の大成者・世阿弥は伝書の中で、天女の舞を特別なものと考えていたようで、後の時代に舞の基本とされたと伝えられています。白砂青松、美しい天女の舞、そして遠く臨む富士山。金剛龍謹の溢れるように瑞々しい芸と共に、豊かな世界が展開します。

#### 【出演】

シテ天人／<sup>こんごう たつり</sup>金剛 龍謹、ワキ漁夫白龍／<sup>もり じょうたろう</sup>森 常太郎

囃子 笛／<sup>あかい ようすけ</sup>赤井 要佑、小鼓／<sup>そわ い き お</sup>曾和 伊喜夫、大鼓／<sup>かわむら ゆういちろう</sup>河村 裕一郎、太鼓／<sup>なかた かずは</sup>中田 一葉

地謡 地頭／<sup>こんごう ひさのり</sup>金剛 永謹、<sup>うだか たつしげ</sup>宇高 竜成、<sup>やまだ なつき</sup>山田 夏樹、<sup>そうみょう ただすけ</sup>惣明 貞助 後見／<sup>うだか のりしげ</sup>宇高 徳成

- \* 9月21日(月) 19時よりプーシキン美術館・特設会場で、謡と小鼓によるパフォーマンスを上演。
- \* 9月23日(水) は公演終了後、モスクワ市演劇センター「桜の園」で、日露青年交流が行われます。

●主催者・本事業に関するお問い合わせ：国際交流基金 文化事業部 事業第2チーム (担当:大平、玉塚)

Tel: 03-5369-6063 / Fax: 03-5369-6038 / E-mail: arts2@jpf.go.jp

●広報用画像・取材に関するお問い合わせ：岸 (公益財団法人 金剛能楽堂財団)

Tel: 075-441-7222 / Fax: 075-451-1008 / E-mail: kongou@isis.ocn.jp